
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.272 2021/7/8

1. 加熱調理済み鶏肉に関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクについて

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部発表の食品安全情報（微生物）No. 14/2021（2021. 07. 07）に、米国で加熱調理済み鶏肉に関連して複数州にわたりリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクが発生しているとしてUS CDCの情報を紹介している。その概要は次のとおり。なお、本件に関連して、Tyson Foods社がそのまま喫食可能な（ready-to-eat）鶏肉製品を回収している旨のUSDAFSISの情報も紹介されている。

2021年7月2日時点で、*L. monocytogenes*アウトブレイク株感染患者が2州から計3人報告されている。患者の発症日は2021年4月6日～6月5日である。患者の年齢範囲は60～95歳、年齢中央値は89歳で、患者の66%が男性である。患者3人全員が入院し、テキサス州から死亡者1人が報告されている。

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前1カ月間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行った。患者3人は全員が、発症時に長期介護施設に入所または病院に入院していた。これらの施設では、加熱調理済み鶏肉を使用した食事も含め多数の食品が提供された。FSIS は、製品の通常検査において、加熱調理済み鶏肉製品2検体から*L. monocytogenes*アウトブレイク株を検出した。疫学データとこの通常検査結果にもとづくと、患者は加熱調理済み鶏肉の喫食により感染した可能性が高いことが示唆される。

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>